

## 新同窓会設立趣意書

名古屋大学工学部・大学院工学研究科では、平成29年4月に組織の改編が行われ、これまでの化学・生物工学科応用化学コースと生物機能工学コースが統合され化学生命工学科となりました。また、大学院についても、化学・生物工学専攻応用化学分野、生物機能工学分野、関連する結晶材料工学専攻、物質制御工学専攻の研究室が融合再編され、新しい三専攻、有機・高分子化学専攻、応用物質化学専攻、生命分子工学専攻へと変わりました。この改編によって、一学年の学生数が、学部は99名、大学院は三専攻合わせて105名、全体では600名を超える大きな教室となりました。この平成29年4月に入学した学部学生は平成33年春に卒業し、新専攻の博士前期学生は平成31年春に修了する予定です。

これまで、応用化学教室では1939年（昭和14年）創設以来約80年約5千名、生物機能工学教室では1991年（平成3年）設置以来約25年約7百名の卒業生及び修了生を輩出してまいりました。その間、同窓会組織として応用化学教室が「応化会（一時、応化合成会）」を発足させ、新会員歓迎会、講演会の開催、在学生の顕彰や活動支援、支部の支援等により親睦交流に貢献してまいりました。一方、生物機能工学教室では、新入生歓迎講演会、卒業生の表彰並びに研究室を中心とした同窓会活動により親睦交流を図ってまいりました。

さて、この度の両教室の統合に際し、同窓会組織も対応が必要となりました。特に在学生の勉学の顕彰や同窓会活動支援の継続について、両教室主任と応化会役員の相談会にて議論いたしました。その結果、新学科・新専攻に対応する新同窓会を設立し、両教室の同窓生並びに教員が合流参画し、同窓会組織として一本化することに意見が集約されました。

伝統ある二つの両教室の融合した、新しい化学生命工学科並びに大学院関連三専攻の発展に寄与し、会員相互の学問、技術の向上並びに親睦融和を計ることを目的として、新同窓会組織を設立することと致しました。

なお、新同窓会の具体的な運営については、両教室主任を中心に設立準備委員会を立ち上げ、同窓会各位の意見を十分聴取しながら、新しい会の名称も考え、現行の組織から新組織へと移行することと致しました。皆様のご理解と温かいご支援をここにお願いする次第です。

2017.8.10

新同窓会設立準備委員会